

全面図

- 注記 避難所開設後、即座に体育館・校舎のすべてのトイレは一旦使用禁止とし封鎖する。
- 注記 ●トイレは、大至急ポリ袋をセットして簡易トイレとする。
また、マンホールトイレ・障害者用トイレの開設を急ぐ。
- 注記 ペット同行者は、室内への入室は困難。渡り廊下などの厳しい環境となる為、車中泊、又は可能であれば極力自宅避難を進める。



小垣江小学校避難所配置

令和7年12月

■ 避難所設営の主なポイント

- 各入場門からの進入ルートを決めておく
- 校舎内は一部職員室など、使用禁止のエリアがあるので予め進入禁止とする
- 校舎内は、一部「医療チーム」専用のエリアがあるので、そのエリアは使用しない
- 避難所開設と同時に、「トイレ使用禁止」「簡易トイレの設営」を急ぎ、マンホールトイレとどんとこいトイレを設置する。
- 受付では、来場者の各種個人情報を確認する為、混雑が予想されるので、受付一時待機場所を設ける
- 事前受付場所も設け、「健常者受付」「要配慮者受付」「発熱者受付」それぞれの受付場所を指示し振り分ける
- 「発熱者」の導線は、その他の人の導線と完全に分ける
- 「要配慮者」は体育館の出来るだけ壁より、また校舎内では1階のエリアを優先にする。
- ペットは、屋外もしくは渡り廊下などの厳しい環境となるので、あらかじめ自宅避難を推奨する。
- 体育館ブルーシートの通路は、最低1200mmくらい確保する
- 体育館のステージの上は、地震の際に大型看板や証明器具などの落下の危険もあるので、予備スペースとする。
- トイレ、男女更衣室は複数箇所設ける
- 支援物資の保管場所は、本部員などの目の届く範囲に保管。
- 体育館の避難場所には、椅子を出来るだけ用意しておく。（長時間床に座っているのは困難。）